

平成28年度 久留米市文化財専門委員会 議事録概要

1. 開催日時：平成28年10月7日（金） 14：00～15：40
2. 会 場：久留米市市民活動サポートセンターみんくるセミナー室1・2
3. 参加委員：西谷正委員、横山邦繼委員、重松敏彦委員、橋川ひろみ委員、高山美子委員、森山秀子委員、小林法子委員、段上達雄委員、鳥丸貞恵委員、江島政光委員
（欠席委員：木下尚子委員、中溝直美委員、永松義博委員、中野等委員、大森洋子委員、宮崎伸二委員）
4. 事務局：文化財保護課 馬場課長、白木課長補佐、水原主査、丸林主査、江島、穴井、佐藤

5. 議 事

(1) 開会、教育長挨拶、平成28年度配属職員の紹介、会議成立報告

(2) 第1号議案 久留米市文化財の指定について

◇小川文書（古文書）

※ 配付資料に基づき、事務局から説明

※有形文化財部会での審議について部会委員より報告

- ・指定についての異議はないが、名称について、古文書で使われている「小河」とすべきか、また、員数について、写しが含まれるため23点として良いかという問題があり、検討が必要である。専門である中野委員が欠席のため、部会では結論が出ず、専門委員会で検討していただきたい。

【質疑応答】

(委 員) 「川」と「河」という表記についてはどう考えるか。

(事務局) 古文書では、「川」と「河」が混在している。現在、小川天満宮は「川」を使っている一方、「福岡縣史資料」では「小河文書」となっている。検討すべき問題だと考える。

(委 員) できれば実物を見せていただきたい。

※ 有形文化財部会の中野部会長に確認していただき、指定の方向で進める

※ 指定に向けた今後のスケジュールに関して確認（中野委員に確認した後、西谷会長から答申提出。その後、教育委員会に議案として提出予定）

(3) 報告：平成27年度の事業報告

※ 配付資料に基づき、事務局から説明

【質疑応答】

(委 員) 久留米市の指定の傾向として、考古資料が少ない。予定でも良いので、審議対象として挙げていただきたい。出土品は容易ではないだろうか。次回、もしくはその次の回にでも、候補を一覧にしていきたい。

(事務局) 来年、改めて候補案件を提示したい。

(4) 報告：平成28年度の事業概要

※ 配付資料に基づき、事務局から説明

【質疑応答】

(委員) 電子博物館についてはどうなっているのか。また石橋美術館の状況は。

(事務局) 電子博物館については、現在データ入力を行い、基礎作業をしている状況である。今後、電子博物館の名前にとられることなく、公開の方法を考えたい。

石橋美術館は、10月1日から久留米市美術館に移行した。

(委員) 9月30日をもって、運営が石橋財団から指定管理者である文化振興会に移り、職員は、7名中5名が石橋財団から文化振興会に移った。学芸員は4月1日から文化振興会で1名採用し、久留米市からも学芸員が1名配属されているが、人材はなかなか足りていない状況である。

11月19日から、開館記念展として「九州洋画」を、また1階では「九州をあそぼう ダンボールアート遊園地 in くるめ」を開催する。また別館は石橋正二郎記念館として開館する。

(委員) 指定を見送る虫追い祭りについて、跡継ぎがないということだが、説明を。

(事務局) 虫追い祭りは、現在JAの青年部が主体となっているが、なかなか人が集まらない状況である。今回の指定は見送ったが、協議は続けたい。

(委員) 城島町は、元は島だったものを開拓した歴史があり、これについて説明板を設置していただきたい。

(事務局) 説明板は、原則として指定文化財について作成している。旧四町分については、指定外の文化財も既存のもの改修は行っている。開拓の歴史を伝えるものは必要だと思うので今後協議したい。

(委員) 収蔵庫の状況やキャパシティはどうなっているか。

(事務局) 文化財収蔵館、埋蔵文化財センターのほか、市内各所に収蔵庫を設け、資料を分散して収蔵しているがどこも一杯になっており、寄贈の申し出も断らざるをえないような状況である。

(5) 報告：平成27年度文化財専門委員会議事録

※不備、不適切な点があれば後日指摘をうけた上で承認

6 閉会挨拶（事務局 馬場）